

泉の自治だより

題字 安藤恭彦 会長

№. 67

発行所 泉町連合区会
 発行責任者 連合区会長 安藤恭彦
 事務局 (泉公民館内)
 土岐市泉中薬町
 TEL 55-3653
 編集部長 今井 敏 美



自治会女性部をよろしく!



女性部 部長
加藤 規子

こんにちは!! 女性部です。日頃より女性部に御協力・ご支援を頂きありがとうございます。

このところ婦人会ではなく女性部女性部とよく耳にされていると思いますが、「女性部ってなあに」と思われている方も多いのではないのでしょうか?

長い間、いろいろな面で地域等に貢献されていた婦人会の会員数が減少し、会として成り立たなくなってきました。

平成11年の3月、久尻区婦人会が泉町連合婦人会を脱会廃止となったのを皮切りに、今年の3月に最後の定林寺区婦人会が脱会廃止となり、泉町連合婦人会はなくなりました。そこで婦人会のなくなった区においては、女性部員相互の融和を図る・女性の意見も能力も尊重し男女共同参画で自治会を運営していこう、という観点等から自治会の中に女性部が設けられました。

平成14年度までは、婦人会の存在する区と女性部の区と混在しておりましたが、15年度からは泉町全ての区に女性部が設けられ、各区女性部の連絡調整を図るために、泉町連合区会の中に連合女性部が設立され初年度の活動をさせていただいております。

泉町連合女性部
 各区の部長・副部長により構成されています。
区女性部役員
 各区に部長1名 副部長1・2名
女性部委員長
 各区により名称が異なる



① 土岐踊り
 8月2日 60名(他鳴子踊り30名+小学生30名余)
 ・泉町で活躍されている鳴子踊りの2サークルにも協力依頼をし、大勢の小中学生と共に参加していただき盛り上げていただくことが出来ました。

・久尻区の女性部については、各自のゆかた等で参加した為、一般のまつり参加者が踊りの輪に入りやすかったように思われました。

今年度泉町連合女性部で取り組んだ行事

活動については、各区ごとに、区に適した活動を、区に適した方法で行っています。

泉町全体で取り組む必要がある行事については、連合女性部会を開催し連絡調整を図りながら取り組んでいます。



② 敬老会
 9月15日 セラトピア大ホール 出席者269名
 (総対象者837名 欠席者556名・その他11名)
 前日・当日 80名(連合区会8名含む)
 ・5月に市役所より泉町連合区会へ「敬老会」の委託依頼があり、女性部を



③ 公民館まつり
 11月16日 30名
 「きもの・和装小物のリフォーム展」「ミニバザー」
 ・泉町に在住の達人に、リフォーム作品をお借りし展示させていただき、来場者に楽しんでいただきました。

・古布で作る手作り雑巾コーナーも設け、大勢の方に楽しんでいただきました。
 ・大富区が中心となり開催したミニバザーも、1時間ほどで完売となるほどの盛況ぶりでした。
 *ご来場ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。収益金は公民館まつりへの協賛金として福徳関係への寄付とさせていただきます。今後、楽しみながらまつりに協力していけたらと思っております。

駅前町内会が誕生

駅前区の本町と西本町一丁目の両町内会は、長年の懸案であった合併を今年十月にそれぞれ臨時総会を開き賛成多数で決定しました。

その後両町内で協議を重ねながら、新町内会規約や隣保班の区割り等の作業を進め、十二月一日に来年度の両町内会役員を選出と、新町内会名「駅前町内会」を選択し、全ての原案作業を終了しました。

これにより来年二月の両町内合同総会において、規約その他を確認し、来年四月一日より駅前町内会として新たな出発となります。

これからも、泉の皆様の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

中心に市役所からのアドバイスを受けながら実施することとなりました。

・家庭訪問から当日まで、本当に多くの女性部員の協力で実施できた感謝しております。ありがとうございました。

自治会への参加もボランティアも、そして今年度泉町連合女性部として参加した行事も、これからは男女共同参画で泉町住民のために活動したい、と一同思っております。今後ともよろしくお願いたします。



- 平成15年度 11月・12月 事業報告
- 11/3 中仙道ウォーク 関が原
 - 4 交通指導と声かけ運動
 - 10 第8回三役会
 - 10 第7回女性部役員会
 - 12 泉小学校建設委員会
 - 16 公民館祭り
 - 17 声かけ運動
 - 18 第8回連合区会 泉公民館新築要望書提出
 - 26 福祉祭り
 - 27 社会福祉協議会
 - 12/1 第8回連合女性部役員会
 - 12 自治連理理事会
 - 12 土岐市自治会連絡協議会
 - 12 市営住宅入居者選考委員会
 - 15 声かけ運動 第9回三役会
 - 16 社会福祉協議会 評議員会
 - 16 泉市議団と連区懇談会
 - 17 防災講演会
 - 19 泉町の教育問題を考える会
 - 20 交通バリアフリー協議会
 - 28 第9回連合区会 泉消防団夜警見舞い

岐阜県立はなの木苑 からの「たより」



施設長 土屋 雅司

はなの木苑が泉町に開設されて以来、地域の皆様にご協力やご理解に感謝申し上げます。今回、はなの木苑の紹介の機会を得ましたので、地域の皆様にあらためて紹介させて頂きます。当苑は、昭和四十六年に児童施設「はなの木学園」として始まり、昭和五十七年に「はなの木苑」と名称を変更して成人施設となりました。この時、建物は、児童施設のまま使っていたので不便でした。これを解消するために、平成十三年に



はなの木苑の玄関

全室個室、小規模な生活単位の設備を持つ建物に改築しました。現在、入所サービスの部門は、利用者が七十人。毎日通う人は十人です。利用している人は、二十歳から七十五歳です。障害を持ちながらも、楽しく生活して

みえます。

生活は、午前中はグループに分かれて、農作業や、美濃古地鶏の世話、園芸ハウスでは花苗の手入れ、陶芸はガス窯を使ってカッパの置物や、箸置きを作り出す。この他に、手芸としてクッションを作る作業もしています。午後は、ボランティアの皆さんとの生け花や踊り、陶芸教室などの活動もします。利用者の皆さんは、ボランティアとのふれあいをとても楽しみにして見えます。朗読・外出のボランティアも募集しています。



生花の風景

地域サービス部門は、日中預かりや、宿泊しての預かりもあります。ホームヘルプサービスは、ご家庭に訪問して相談、通院、イベント、映画などの付き添いをします。また、作業所や保育園にも訪問します。苑に来て頂いての相談、音楽療法やスノーレン体験、余暇の参加も可能です。今後は、入所利用している人が、そのらしい生活が送れるように、グループホーム等を整備して、施設

から出て、地域の中で生活支援をする必要があると思っております。利用者と共に地域に根ざした施設づくりに努力しますので今後とも、変わらないご支援を宜しくお願い致します。



メインの食堂



2階のデイルーム(居間)



大浴場

東濃養護学校を 一度見てみませんか



東濃養護学校長 泉 義明

日頃は地域の皆様方から東濃養護学校に対してご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。この度は本校の状況をお話していただける機会をいただきましたので、概況などを述べてさせていただきます。

「泉」にびっくり

はじめに私事で恐縮ですが、今年四月に赴任しました折、とにかく地名が「泉」だらけ。妙に親近感を覚えました。なぜこの地が「泉」なのか、由来は何なのか、少なからず興味を持ちました。しかし、身近な人いろいろな聞きまじりがなかなかよい回答を得られません。そんな折、平成元年に発行された「泉村誕生百年記念ふるさと泉」が目にとまりました。そこには「明治二十二年七月一日に久尻村、大富村、定林寺村が合併し、泉村が誕生しました」と記載されておりましたが、由来については、確たる資料はないとのこと、少し残念な気がいたしました。ところが、初めて親近感を覚えたのです。ところで本校の状況につきまして、昨年度の「泉の自治だより」の六十一

で紹介いたしました。少し観点を変え述べさせていただきます。

「百聞は一見にしかず」 是非おいで下さい

特殊教育を行っている学校には、盲学校、聾学校、肢体不自由養護学校、病弱養護学校、それに本校のような知的障害養護学校があります。知的に障害のある子どもたちを教育する養護学校ですが、様々な障害のある子どもたちが本校で学んでいます。障害の程度も様々ですが、元気に明るく学んでいます。その様子は本欄の写真にもありますが、実際に見ていただくのが一番です。そこで、おそらく、「普通」の小中学校、高等学校や学校を感じられることと思えます。

「何と言っても」(蕎まつり)

年間の主な行事の一つには、当然修学旅行や遠足です。また、春には小学部・中学部の運動会、秋には高等部の体育祭を行っています。しかし何と言ってもメインは毎年十一月初旬に行います「蕎まつり」です。ご承知と思いますが、この日は大勢の皆様方(毎年六百人程度来校)にきていただいております。



部活動も元気で

活動時間は少ないですが、部活動も元気に一生懸命行っています。今年も写真部が高等学校文化連盟主催のコンクールに入賞したり、サッカー部が東海大会二位と活躍しています。

さらに十月には、サッカー部のOBが全日本チームの代表に選ばれ、韓国に遠征し、大活躍しました。



視点をえて、特殊学校から特別支援学校へ

今、特殊教育が全国的に変わろうとしています。簡単に言えば、あらゆる障害の種別に対応できる地域の学校を目指します。よくよく考えれば、現在でもすでに、視覚障害のある子どもたち、聴覚に障害のある子どもたち、肢体に不自由のある子どもたち、それに病弱な子どもたちが学んでいます。そんな中、地域の人たちが「障害のある子どもたち」の相談は、東濃養護学校に行つて相談して「らん」と気軽に言い、そして、気楽にあの坂を上つて東濃養護学校を訪ねられることを目指しています。



地域の保育園や幼稚園、それに特殊学級設置校を訪問し、障害のある子どもたちの教育、支援のお手伝いをします。一層の地域連携を目指しています。

特殊学校から特別支援学校へと名称は変わろうとしています。内容は、従来通り障害のある子どもたち一人一人のニーズに応じたきめ細かい指導を、一層充実させながら行っていきます。そして、この機会に一人一人の職員が自らの専門性を高め、さらに充実した教育ができるようがんばる所存です。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

●行事予定

- 十二月 二十三日(二十八日) 年末夜警(駅前区)
- 一月 一日 元日祭(各地区の神社)
- 二月 十一日 建国記念日(定林寺)
- 中旬 学校・各種施設等へのタオル配布(女性部)

◆応募(投稿)方法

泉町中薬一丁目 泉公民館 泉町連合会事務局 5513653 募集期間 随時 住所 氏名 年令、電話番号